



ぶどうの枝

2018年
春号

天が地よりも高いように…（7）

千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

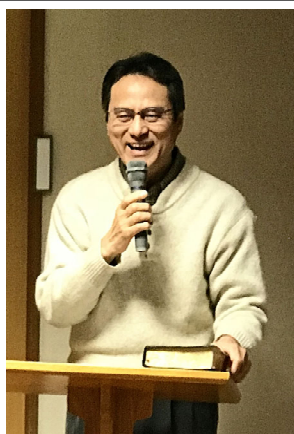
入間川教会での在任期間は、4か年でした。この間、不思議な訪問者が二人ほどありました。田舎の教会ゆえ、平日に教会を訪問する人はほとんどいません。しかしこの教会に、決して忘れ得ぬ二人の訪問者がありました。まず一人の人のことを話しましょう。昔の洋画の題ではありませんが、彼は「夜の訪問者」でした。当時の入間川教会の牧師館は、教会と一体で2Fにありました。その日の夜、何時頃でしょうか？我が家に突然、一つの悲鳴があがりました。その発信源は私の妻。悪い夢でも見たかのように、布団から起き上がって、私のほうに指を向けて震えていました。「私の顔が変形してしまって怯（おび）えているのであろうか」と思い、眠気眼（ねむけまなこ）をこすり、今一度その指に注目。すると少し右側を向いていたので、その方向へ顔を振り向けましたら、なんと一人の男が私の枕元に座っているではありませんか。しかしその時、私は意外に冷静で、その男が酒臭いことを認め「はは～ん、この人酒に酔い自分の家と玄関を間違えて入って来たのか」と思い、私はそっと彼に話しかけました。「ちょっと、ここでは…。台所へ行きましょう」。こうして台所のテーブルを挟んでの面会となりました。

彼の寂しげな人生を拝聴しました。「自分の年は30才。本田技研の下請けに勤めているが、会社では友達がいらない。話し相手もいなくて淋しくなり、歩いていたら教会を見つけた。それでここへ来た」ということでした。そして最後に「こんなに親切に

してもらったのは生まれて初めてだ」という。「今度は素面（しらふ）で来てもいいんだよ」と言って見送ると、千鳥足で彼は帰って行きました。

ところで、その後に妻に聞いた話ですが、実は彼が入って来たのは玄関からではなく、2Fの寝室の窓がずっと開いて、「夜の訪問者」は入って来たというのです。怯えるのは当然ですね。その時、私ども家族のいた隣部屋に受験のために我が家の居候として来ていた親戚の子も、この男性が窓から入るのを目撃してしまして、彼が外へ出て、教会の人に知らせてくれたので巡査さんも来られましたが、「大丈夫ですから」という私の言葉を聞き、巡査さんには帰ってもらいました。それにしても「世の中には寂しい人がいる、愛に飢え渴いている人がいる…」ということを目の当りで学ぶ貴重な体験でした。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い」（イザヤ書55:8, 9節）



「サンセット・バイブル・カフェ」でメッセージを
される磯部牧師

「輝いて生きる力（その3）」

2016年11月5日千葉キリスト教会講演会『闇から光へ』（午後の部）から

千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

今度は、私自身の心に起きた証をさせて頂きましょう。私、磯部豊喜の人生に起きた「奇跡の軌跡」。午前中は、私が養子縁組となり泉豊喜から磯部豊喜となったところまで話しました。

そして大人になり高校を卒業し、勤労学生になりました。ですが、遊び好きだったかつての実父のような生き方（パチンコや馬券買い）で日を過ごすようになったのです。やがて、私はとりこになっていた競馬観戦を、テレビではなく実際に競馬場に行き、楽しみたいと思い、中山競馬場に行くことにしました。

この日、朝から夕まで馬券を買いましたが、その日は見事全敗。それで肩を落として帰路に着きます。その敗北感と秋風の吹く中、背中を丸めて帰る人たちの背を見ていて、なんとも言えない気持ちになります。自分はいったい何を好き好んでこんなことをやっているのか？自分の人生、もっと大切にしないでいいのか？この時、わたしの心に浮かんできた言葉。

「人生は一度しかネジをまくことが出来ない。問題はそのネジの巻き方ではないか」。こんな思いに包まれました。そして「もう、やめよう。このような生活にピリオドを打とう！」

そう思い、生活を一新すべく、夜間大学だけは将来のために卒業するまで通いましたが、当時、勤めていた会社を辞めて、実家のある木更津に戻ります。木更津に戻った私は、「牛に引かれて善光寺」という言葉がありますが、キリストちゃんになっていた母に勧められて教会に通うことになったのです。

この教会は高校生の頃一度だけ出席したことはありましたが、その時は「このような場所には、二度と来ることはないだろう」と思っていた私で

したが、この時は、教会に通っていくうちに、一転して、その後、かつて母からもらって、ひどい仕打ちをしたことのある（見向きもせず、スチール棚の一番下の左隅に置いていたホコリ高き書物）あの聖書に真剣に向き合うようになり、また。

教会で出版されている聖書の通信講座を片っ端から読破しました。そしてまず聖書の預言（将来を予告する予言を含む神の言葉全部を預言という）がその通りに実現していることに感動しました。特に、バビロンの巨像の預言がその通りに成就していることに驚きました。



これは紀元前600年頃の王様であったバビロンの王、ネブカデネザル王の見た夢で、彼の時代から世界の終わりまでの預言があつて、最後のところ以外は、その通りに進んでいるというもの。

実は、今は、巨像の足の部分、分裂国家の時代をさしています。



この間違いのない歴史預言を聖書に残した、この神様を信じて行こうと決意しました。

紆余曲折ありましたが、キリストちゃんとして歩む決心をし、バプテスマ（洗礼）を受けさせて頂きました。

3 ページに続く



その後、私は某夜間大学(電子工学科)の卒業と同時に、脱サラをしてある仕事に取り組むことになりました。ある仕事…この顔を見て、皆さんに当ててもらいましょう。次のうちのどれかです。①電器店、②八百屋、③学習塾。正解は、②八百屋です。

これには一つのビジョンがあった。あの松下幸之助も、小さな電球屋から始めた。私もそうだ…夢は大きいほうがいい。ダイエーや十字屋に負けない百貨店を目指そう。その手始めにと言って、手持ち資金のさほどかからない「八百屋」を開業しました。最初は車で引き売り、その後、仮店舗を構えました。しかしこれに飽き足りぬ私は、今度は土地を買って、自分の店舗を購入する計画を練る段階にきました。ところが、ふと「自分の道は本当にこれなのか。また将来たとえ間違っても百貨店の店長になったとして、それでどうなるか」と考えるのです。

そうこうしているうちに心の中にはいつしか、「三育学院神学科」という文字が頭に強く描かれて行くのが分かりました。

ですが、その道を進む事が本当に神様のご意志であるかどうかは分かりません。それで祈りのうちに、父から「行っても良い」との許可を得るならば神様のみ心であるということにしました。なぜ父の許可にかかっているかと言いますと、以前父は、私がクリスチャンになることは、支持するどころか反対の立場でしたが、父の意に反して私はバプテスマを受けたのです。

しかしこの自営業に関しては、私が真面目に励んでいることを応援してくれていました。その父にこの進学を話せば反対されることは十分に予想されました。「もし強く反対されたならば、三育学院行きは進むべき道にあらず、断念しよう。このまま実業家として挑戦し続けようと考えました。」祈りのうちに「三育学院神学科」への思いを父に告白する必要を感じました。

これを話すには、時と場合があると私は考え、その機会を求めて祈り始めました。皆さん、クリスチャンの最大の武器は何だと思いませんか？それは祈ることです！するとどうでしょう。まさに示し合わせるかのようにそのチャンスが訪れます。その年の夏、何と生まれて初めての北海道家族旅行が計画されたのです。人生の大きな節目における重要な告白は、やはり温泉の湯船にでもつかって気持ちののんびりとしている、そんな設定が良いと考えました。

この年の夏、私ども家族は木更津を出発し、札幌に向かいました。最初の宿泊場所は大都会札幌。旅ははじまったばかり。ここでは「三育学院」行きの思いを語るには、ふさわしいとは思いませんでした。次の目的地は、旭川でした。



この日は土曜安息日でしたので家族そろってSDA旭川教会へ出席しました。ところがこの旭川教会で、何と私は父との間にトラブルを起こしてしまったのです。かつて私が信仰を持つことに前向きではなかった父でしたが、この日は土曜日でしたから旭川教会へ全員で出席しました。私は、父に神様を知ってもらうチャンスと考え、父に信仰をもって欲しいという願いを持っていることを牧師に話しました。ところがその語り方がまずかったのです。当時は気難しい父でしたから、息子に諭されたような気がしたのでしょうか。気分をそこねてしまったのです。



聖なる安息日、その後、旭川教会を去って層雲峡に向かいましたが、車の中で父と私はまったく口を利かない険悪な関係になってしまいました。これでは「三育学院神学科」行きの話など到底持ち出せない、そんな状況です。

4 ページに続く



「三育学院へ進むのは神の御心ではない、私にとって開かれる道ではなかったのか」そんな思いが寄せて来ました。次の宿泊場所である層雲峡のホテルに到着したものの、しかし旅の疲れをほぐすはずの温泉も私の心を決して温かくしません。ほんのり気分どころか、心は冷え冷えしていました。何せ父と口を利かないのですから。互いに黙ったまま、就寝の時間となりました。

ところでこのホテル、この日に限り、お生憎様に、ツインルームとなっており、私ども4人家族は二部屋に分かれることになっていました。父と私、母と妹が同室。これも神様の置かれた設定なのでしょうか。

今振り返ると不思議に思うのです。陰悪な状態の父と私、「三育学院神学科」行くなどとは全く話せない状況でしたが、何と皆さん、このツインルームで私の人生一大転機のドラマが起こるのです。

私はこの日のベッドの中で、一つの聖句を思い出していました。その聖句は新約聖書にあるエペソ4章26、27節でした。「怒ることがあっても、罪を犯してはならない。憤ったままで、日が暮れるようであってはならない。また、悪魔に機会を与えてはいけない。」

私は自分が原因なのに、小さなことで怒っている父に対して、私も心の中で煙たく思っていました。しかしこの聖書の言葉に後押しされ、隣のベッドでゴソゴソしている父に向かって「お父さん、まだ怒っている」と語りかけました。父は「いや怒ってはいない」という。「お父さん、今日はおめん！」と謝りました。その後です。不思議な言葉が父の口から出てきました。「ところで豊喜、お前、今の仕事続けて行くのか」と。私は自分の耳を疑いましたが、話すべきチャンスが来ました。「そのことだけれど、僕は今の仕事は嫌いではない。がどうしても牧師になりたい！そのために三育学院に入りたい」と言いました。父は「そうか。分かった。そのような思いがあつて今の

仕事はつとまらんだろう。そうするか、その代わりおとうさんは一銭も援助はしないぞ。」「はい、大丈夫です」。この日はこういう会話で閉じました。父はわたしの思いをうすうす感じ取っていたのかも知れませんね。

その後、私がどうなったかすでにお分かりのことと思います。今、皆さんの前に立たせていただいているのがそのすべてです。

このようなイエス様の約束の言葉があります。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。」

(マタイ7章7、8節)

実は、わたしはこの4月まで、東京の練馬区にある教会の牧師でした。ところで牧師にも引退年齢があります。私どもの教団の場合65歳が定年です。私は今年62歳(※講演会の時点では)ですので、残るはあと3年。ですからその練馬区の教会で現役牧師としてフィナーレを迎えるに違いないと思っていました。ところがこの4月より千葉教会へ行って欲しいとの辞令を受けました。

そのお陰で皆様とお会いするチャンスが与えられたのですが、この千葉に来て実は一つの願い、心の中で祈っていたことがありました。地元 of 県に戻ったのですから、中学校の頃の友達にも会いたいなあ…クラス会はないのかなあと心の中で願っていました。するとどうでしょう。親しい友人から「クラス会がある、参加できるか」との突然のメールを頂戴しました。中学生時代のクラス会は、これまで過去に2～3回ほど持たれたようですが、その度に私は遠いところへ住んでおり一度も参加できませんでした。

5 ページに続く



実は今回のクラス会は11月12日の夜、会場は君津。丁度来週の土曜日の夜です。しかも来週は、袖ヶ浦教会へ出席しますので、最も都合が良い。

私にとってイエス・キリストは、祈りの対象であり、わたしに「輝いて生きる力」を与えてくださるお方です。これはわたしが特別に立派になったとかそういうことはありません。

立派なのはイエス・キリストです。このイエス・キリストを知ると、人生が明るくなるのです。ですから何はさておき、皆様にも、是非、イエス・キリストに出会って頂きたく願っています。

「闇から光へ」そのヒントは聖書にあります。そしてその鍵はイエス・キリストにあります。キリストは私どもの日常の生活から遠く離れたお方ではありません。このお方は私たちの選ぶ道が、その御心にかなっているならば、常に道を開いてくださいます。私どもの信じるイエス・キリストはとても親切で、素晴らしいお方です。私たちの罪を背負って、十字架にまでかかって私たちを救おう、永遠の命を与えようとされるお方です。

もう時間がないので、これ以上のお話はできませんが、これから皆さんがイエス・キリストを知る番です。

是非、イエス・キリストを知ってください。そして希望に満ちた、未来の備えをしてください。未来の備えについて詳しく知りたい方は、聖書の通信講座を学ぶことをお勧めいたします。この講演会が皆さんの輝く人生の入口になっていただければ幸いです。では最後に、今ひとつの聖句を皆様に紹介してメッセージを閉じたいと思います。

「光(キリスト)はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。…1:12しかし、彼(イエス)を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。」(ヨハネ1:5,12【口語訳】)

皆様が希望と光に満ちた人生を歩まれますように心から願います。

2016年11月5日(土) 千葉キリスト教会講演会『闇から光へ』にて講演された午前の演題「闇を追いやる力」は「ぶどうの枝5、6、7号」に掲載いたしました。

今回掲載の記事は、同日の午後の演題「輝いて生きる力」です。「ぶどうの枝8、9号」に続き、今回の「春号(第10号)」の3回に亘り連続で掲載させて頂きました。



証

千葉キリスト教会 佐久間 満

私は千葉教会員の栗山英子さんとの出会いによって教会に一步足を運びました。

教会では、コワイヤー（聖歌隊）のメンバーに入り讃美歌を歌うことが目的でした。指導者は森恵子先生です、難しい曲がほとんどですが毎週楽しみでした。

しばらくして、安息日礼拝に出席して、磯部牧師の説教を聞き賛美する事に、今までにはない、新鮮な気持ちになれたことです。

千葉教会には、私の身内になります木方夫妻と、姪にあたる野中夫妻が、ともに通っています。私も住居を川崎市より千葉市若松台に転居したばかりでしたので、日頃分からないことが多く、アドバイスをいただきました。それから聖書を開き学びながら、聖書とは、素晴らしい神の証であることが理解できるようになりました。

そして渡邊長老よりバプテスマの話がありました。このときの私はこのことをどれ位理解していたのか、まだ早いのではないかながらも、心を決めました。

磯部牧師よりバプテスマ準備講座を受けまして、2017年11月4日磯部牧師の司式により、バプテスマが行われました。ここで私はクリスチャンとなり、神の子である資格と神の愛を受けて、祈ること、また品性と自覚を持って信仰の道を歩むことになりました。

神は全知全能の神であると言われていきます。神が人を創り、我らに対して十戒と言う、十の掟の戒めが与えられたこと、これは神のご計画されていたことの1つであり、私たちに対しての愛の戒めだろうとおもいます。十戒は愛として受け止め、親の愛とイエスの愛を知るときに十戒を守る力

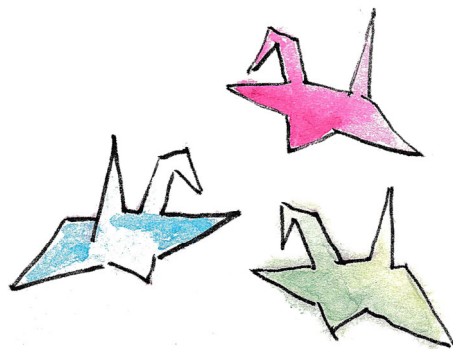
が与えられる事は本当のことと思います。

又、教会には必ず讃美歌そして音楽が鳴りわたるとき、どのような効果と目的があるのか、次のような言葉がありました。「礼拝のときの音楽の重要な役割は、教会における信徒が一つの心となって交わりと言うこと、そして音楽を通して神様と交わることができること。」

音楽は音による会話であり、聞いている人に伝えることにより、心と心のふれあいが行われるのです、音楽は聖なる目的のため用いられ、清く気高く高尚なことは人の思想を高めて、魂のうちに神への献身と感謝の念を起こさせます。これからも心を込めて賛美します。

私は高齢者で76歳です。聖書の学びで神のみ言葉を理解するとき、何度も読み返しますが、なかなか分りにくいことがあります。分らなければ、その時はそのままでも後で分るようになるとよく言われます。

私たちは神の言葉を受け止め実行することにより、心と体も健やかになれることを神は望んでいるのです。私も健やかになれるよう、お祈りいたします。



クリスマスを終えて

千葉キリスト教会 青年部会長 Y・H

2017年12月23日(土)千葉教会においてクリスマス会が行われました。礼拝出席者は100名を超え、午後の子供クリスマス会は「虹の家」の方々も参加してくださり大盛況となり、教会の備え付けの椅子では足りない状況で、なかには立ち見の方々もいらしていました。

午前の礼拝では磯部先生がクリスマスの礼拝を取り持ってください、コワイヤーの方々の賛美の歌声を聴くことができました。

午後の子供クリスマス会では、東京中央教会よりゲストをお招きし、歌と絵によるメッセージがあり、会場の皆様から「歌と絵が素晴らしかった」「歌が上手だった」などの感想を聞くことができました。

ハンドベルの演奏は千葉教会の青年有志の方々により演奏されました。聴きなじみのある曲の演奏に会場からは歌声がきこえておりました。

クリスマス会の最後にハンドベルに合わせ、会場の皆さんで「きよしこの夜」を合唱し、イエス様のお誕生に思いを寄せることができました。



このクリスマス会の企画、運営、参加してくださいましたお一人おひとりに感謝します。

当日来ていただいた方々と毎週安息日の日にお会いできるそんな日が来ることを願いつつ、今年1年の神様からのお守りと導きに感謝し、心新たに新年を迎えたいと思いました。



教会に併設の「シャローム若葉」から職員の方々のご厚意により「ウェンセスラス王様」の劇をおもしろおかしく鑑賞しました。毎年劇の披露があり、それを毎年楽しみにしている方々の期待に大いに応えてくださり、会場の皆さんも大満足の様子でした。



九十九里教会の子供たち
は賛美
しました。
お祝い
しました。



千葉教会の子供たちはクイズでみんなと一緒に楽しみました。

恵みをいただいた『クリスマスコンサート』

SDA千葉キリスト教会 コワイヤー 酒井 紀子

【クリスマスコンサート】

「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛してくださった。それは御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書3章16節（口語訳）

今回のクリスマスコンサートでは、ひとり子イエスをこの世につかわしてくださった神様に感謝して、心からの賛美をおささげし、クリスマスのお祝いをいたしました。

2017年12月24日（日）千葉教会礼拝堂には多くの皆様が集まって下さり、礼拝堂の2階席（バルコニー席）まで満席になりました。『もろびとこぞりて』の全員合唱でコンサートは始まり、加藤潤一さんの美しいホルンの音色は会堂に響き渡り、続いてのテノール歌手山田義也さんの賛美の歌声は、聴衆を魅了しました。又、6人の青年たちで構成するブラスアンサンブル“ダイス”による金管六重奏の演奏は、重厚なハーモニーと見事なアンサンブルを聞かせて下さいました。

後半は、根本愛一先生のクリスマスメッセージを挟んで、ヘブンスコワイヤーによる『Silent Night』『主よ祈り求めます』など全8曲のクリスマスの賛美の歌声が会堂を豊かに満たしてくれました。『きよしこの夜』の全員合唱とお祈りをもってクリスマスコンサートは閉会となりました。素晴らしい音楽で満たされたクリスマス的一天でした。

【根本愛一先生のクリスマスメッセージ】

「受けるよりは与える方が幸いである」

使徒言行録20章35節

全世界の多くの人々によってお祝いされるイエス様の誕生日。そのクリスマスは皆が幸せになる日です。ヨーロッパでの戦争中、敵、味方が互いに讃美歌を歌い合って休戦した実話は有名で、イエス様の愛は、優しい心、平和の心、愛の心であると説明していただきました。

次は、自分の受けた愛に感謝して、死ぬまでシークレットサンタ（身分を明かさないうサンタのこと）として、クリスマスに愛のほどこしを与え続けた米国人の実話でした。その働きは、現在、全世界に広がりシークレットサンタ協会設立となりました。この協会に入る条件は、1回だけ人に優しくしたことがあればOKです。今、このシークレットサンタになって、この働きをしている多くの人々は「私はイエス様の愛に感染した」「受けるよりは与える方が幸いだ」と言っているということです。

この感動的でわかりやすいメッセージを聞いて、私達一人一人の心はあたたまり、多くの恵みをいただくことができました。優しい愛の心で語りつづけて下さった根本先生に心からの感謝をいたしました。

9 ページに続く



【ヘブンズコワイヤーの今年の活動予定】

ヘブンズコワイヤーは、千葉教会コワイヤーを中心とした聖歌隊で、教会という枠を取り払い、讃美歌を歌いたいという人は、どなたでも参加できるのが特徴です。普段はそれぞれ別々の場所で練習していますが、コンサート当日は各地から集まり、心を一つにして声高らかに賛美することがメンバー全員の大きな喜びです。コンサートごとに参加メンバーが替るため、本番で

どのような歌声になるか予測がつかないところがヘブンズコワイヤーの大きな魅力です。

なお千葉教会では、毎週土曜日の午後、練習いたしております。参加希望の方はぜひお越しください。お待ちいたしております。又、今年は『チャーチコンサート』を偶数月の第4日曜日の午後開催いたしております。

次回コンサートのご案内

チャーチコンサート “トーンチャイムの響き”

日時：2018年4月22日（日）午後2時開演

皆様のご来場をお待ちしております。

ヘブンズコワイヤーのメンバー



金管六重奏を演奏して下さった、
ブラスアンサンブル “ダイス”
のメンバー

ロンクルーゼ博士 連続講演会

千葉キリスト教会 IT担当 太田 博司

昨年(2017年)の10月6日から10月28日までの間に、SDA天沼教会で、ロンクルーゼ博士によって合計24回の連続講演会が行われました。この講演会はSTORY OF HOPE という題で、全部で24章から成り立っていて、各章ごとに積み上げて学んでいく形式をとっていました。

千葉教会では、サテライト講演会として、その講演をライブ中継しました。私と篠田さんは、そのライブ中継を会堂のスクリーンに放映する担当で、交代で放映する予定でした。23日間の長い間、無事に役目を果たせるように風邪をひいたりケガをしないようにと神様にお祈りをしました。10月6日に第1回の講演会が始まりました。講演の最初に、ロンクルーゼ博士は次のように言いました。

「STORY OF HOPE は、全部で24章から成り立っています。積み上げ方式で聖書を学ぶようになっていきます。ですから、できるだけ毎日続けて来てください。子供のころからクリスチャンで教会のことをよく知っている方でも、役に立つし、必ず新しい発見があるので、ぜひ講演会に来てくださ

い。また今日の講演を聞いた方は、面白くなって、毎回来たいと思うでしょう。また、Q&Aの時間も設けます。」

第1回のテーマは、“なぜ宇宙はこのような姿になったのか”でした。現代の宇宙科学者の最新の宇宙理論と聖書の創世記の天地創造について分かりやすく説明をされました。

第2回のテーマは、“すべての戦争の終結と人類の未来”でした。結論は、「歴史は、聖書に書かれている預言どおりになったこと、そして未来は、預言どおりに再臨とともに神の国が世界を統一するでしょう」

最初の講演を聞いた後、私にとって新しい発見がありました。そして、私に聖霊が働いたのか、毎回欠かさず講演を聞こうと思うようになりました。そして、23日間の長い間のライブ放映の役目を無事に果たすことができ、結果的に毎回欠かさず講演を見ることができました。最初の日のお祈りがかなえられ感謝しております。

【追記】

この講演は、録画されており、SDA天沼教会のホームページ(下記URL)のSTORY OF HOPEのタブからYouTubeにリンクされており、どなたでも見ることができます。

<https://sda-amanuma.jimdo.com/story-of-hope/>



SDA千葉キリスト教会（春）の特別集会

◇バイブルの知恵講演会「日が暮れるまでに」

3月17日（土） 講師：磯部豊喜（千葉教会牧師）

第一部 11時～12時「生命の黄昏」

人はなぜ死ぬのか？死んだ後に希望はあるのか？

他では聞けないバイブル（聖書）の知恵を紹介します。

第二部 13時～14時「世界の黄昏」

不穏な世界情勢？世界の未来に希望はあるのか？

他では聞けないバイブル（聖書）の預言を紹介します。

※一部と二部の間には、軽食を用意しています。

◇ゴスペルショー&希望メッセージ『永遠の命への道』

「ゴスペル王子ジョン・ルーカス&希望メッセージ」

会場：SDA千葉教会

講師：島田真澄

第一部 4月6日（金）19時00分「新しい命への道」

第二部 4月7日（土）10時30分「幸せな命への道」

第三部 4月7日（土）13時30分「本当の命への道」

※必ず教会へ整理券（無料）をお求めください。

教会FAX又はEメールに「氏名・住所・連絡先（メールアドレス又は電話番号）」をお知らせください。「整理券」を郵送致します。

教会FAX：043(231)1634

教会メール（整理券専用）：sdachibachurch@gmail.com

教会メール（整理券専用）QRコード



ゴスペルシンガー：ジョン・ルーカス

1979年ジャマイカ出身。現在、全国13カ所にてゴスペル教室を開講（生徒数は、総勢300名を超えている）。国内外の音楽イベントへの出演、各種イベント、自身のライブなど、シンガーとして全国を駆け巡る一方、24時間テレビ（日本テレビ）、のど自慢THEワールドなど多くのテレビ番組へ出演。ジャマイカ観光親善大使として、日本とジャマイカの架け橋として活動中。現在、WebTV番組「レッツゴー！John Lucas」にレギュラー出演中。



島田真澄

セブンスデーアドベンチスト教団総理



3月、4月、5月の行事

◇ 礼拝ご招待日

☆日時：3月17日（土） 午前10時50分～12時（午後は「講演会」があります。）

☆場所：千葉キリスト教会 礼拝堂 ☆説教：千葉キリスト教会牧師 磯部豊喜

☆教会の礼拝にご参加してみませんか。天来の祝福とお恵みにお与りください。皆様のお越しをお待ちしております。昼食はパトラックでお楽しみください。

◇ チャーチコンサート

☆日時：4月22日（日）午後2時開演 ☆場所：千葉キリスト教会 礼拝堂

☆コンサート「トーンチャイムの響き」：開演；午後2時～ ☆茶話会：コンサート終了後です。お立寄り下さい。

☆チャーチコンサートは、2、4、6、8、10、12月に開催いたします。12月は「クリスマスコンサート」ですが、それ以外の月は、4月の「トーンチャイムの響き」のように、コンサート・テーマを決めてお届けします。

テーマにそった演奏とヘブンズコワイヤーの合唱をお楽しみください。皆様のお越しをお待ちしております。

◇ シャローム若葉「ふれあいバザー」

☆日時：5月20日（日） 10時30分～13時30分

☆開催場所：シャローム若葉 虹の家、第2デイサービスセンター敷地内（TEL：043-235-4867）

☆各種出店・模擬店など楽しい企画が一杯です。皆様のお越しをお待ちしております。

毎月の定期集会

◇ 菜食料理講習会

☆日時：毎月、第一月曜日に開催します。午前10時～13時

☆場所：千葉キリスト教会 集会室 ☆参加費：500円 ☆どなたでもいらして下さい。

◇ 聖書セミナー

☆日時：毎月、第二（黙示録）、第四（ダニエル書）水曜日に開催します。午前10時～11時30分

☆場所：千葉キリスト教会集会室 ☆講師：千葉キリスト教会牧師 磯部豊喜

◇ サンセット・バイブル・カフェ

☆日時：1、3、5、7、9、11月の第四土曜日の夕べ開店します。午後5時30分～7時30分

☆場所：千葉キリスト教会 集会室

☆心がほっとする聖書の話、素敵な音楽、楽しいおしゃべりなど、癒しの時間を共に過ごすことができたと願っています。軽食とお茶を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。

安息日学校（毎週土曜日）

☆賛美礼拝：午前9：15～9：25

☆聖書の学び：午前9：25～10：40

安息日礼拝（毎週土曜日）

☆千葉キリスト教会：午前11：00～12：00

☆シャローム若葉虹の家：午前9：30～10：10

祈祷会

☆毎週、火曜夕方午後6時及び水曜日朝午前7時30分から祈祷会をしております。

【編集後記】「ぶどうの枝」2018年春号をお届けします。2018年の寒さは格別でした。皆様は神様に守られ、お元気にお過ごしのことと思います。3月からは、新しく始まった「チャーチコンサート」を始め、たくさんのイベント、講演があります。皆様のお越しをお待ちしております。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り：3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話：043(231)3620

FAX：043(231)1634

Email：sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ：

<http://www2.odn.ne.jp/sda-chiba/>

★発行責任者：

磯部豊喜 牧師

★スタッフ：

酒井 闊 吉田 敏英

綿引 秀子